

ロンドン 2022 年 3 月 30 日

アルセロールミッタル向け転炉 2 基を受注

- フランス、ダンケルクの旧型 LD コンバーターを交換。2 基目の新型転炉の交換は後段階で実施
- 炉体形状を最適化し、製鋼プロセスと生産性を改善
- プロジェクト遂行実績によりプライメタルズ テクノロジーズが受注

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は、フランス北部に位置するダンケルクにあるアルセロールミッタルの製鉄所向け転炉 2 基を受注しました。まず、耐用年数を超えた既設の転炉 1 基を交換し、もう 1 基の交換は後段階で実施します。

当社の最近における複数プロジェクトが今回の受注につながりました。ダンケルクでの本件は、2021 年に当社がベルギー、ゲントにあるアルセロールミッタルの製鉄所に転炉 1 基を納入したプロジェクトと多くの共通点があります。また、当社が同社のダンケルクの既設転炉 3 基すべてに設置した、出鋼時にレードルへ流出するスラグを最小限にする Vaicon Stopper は、本件の新型転炉にも導入されます。

世界最大級の転炉

ダンケルクに納入される転炉のヒートサイズは 300 トンで、世界最大級です。転炉に搭載する、当社が開発した信頼性が高くメンテナンス不要のサスペンションシステム Vaicon Link は、どの向きでも炉体を安定させ、同時に熱膨張を許容するので、製鋼プロセス全体を理想的な状態が保たれます。

アルセロールミッタル ダンケルクは、アルセロールミッタル ヨーロッパの平鋼製品部門に属しています。ダンケルクでは、自動車や包装業界などのさまざまな市場向けに高品質の平鋼製品を生産しています。アルセロールミッタル初の新型 LD 転炉の稼働開始は 2023 年 12 月の予定です。当社は、ベアリングペデス

タル、ベアリング、トラニオンリング、サスペンション、炉体、傾動装置、ドッグハウス、空冷・水冷システムを含む転炉設備全体の交換を行います。

革新的技術

最適化された炉体形状により、転炉の性能が向上しました。また、炉体の温度やベアリングの状態を自動でチェックする状態監視システムを搭載し、スムーズな運転を実現しています。



プライメタルズ テクノロジーズがアルセロールミットラル向け転炉 2 基を受注。図は炉体と傾動装置



既設転炉に置き換わる、アルセロールミッタル初の新型転炉の稼働開始は2023年12月を予定。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）によるプレスリリース及び資料は、以下のURLよりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約7,000人です。詳しくは、下記URLより当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: <https://www.primetals.com/jp>

Primetals Technologies, Limited

A joint venture of Mitsubishi Heavy Industries and partners
Communications

Chiswick Park, Building 11, 566
Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Press reference number: PR2022032511jp

Page 3/3